

【抗議声明】

2014年10月21日

米軍基地いらない京都府民の会

連絡先：京都市中京区壬生仙念町30-2 ラポール京都5階
京都総評内 京都憲法共同センター気付

TEL075-801-2308 fax075-812-4149

京丹後・経ヶ岬への X バンドレーダーの搬入に強く抗議する

米軍は、本日深夜午前4時15分過ぎに経ヶ岬の米軍基地に X バンドレーダーを搬入した。石川県航空自衛隊小松基地からの陸路搬入で、住民に全く知らせず、またマスコミにも知らせず秘密裏に強行した。X バンドレーダーの搬入強行は、とうてい認めがたいものであり、私たちは満身の怒りをこめて抗議する。

この間、米軍基地建設工事に関連して、工事をしないと約束した日に工事を実施したり、国定公園にもかかわらず何らの申請も説明もなく「穴文殊」を破壊するなど、自治体と防衛省・米軍との約束事も反故にした事例が相次いだ。文字通り、米軍と防衛省が一体となって、住民の意思を踏みにじって米軍基地建設をしてきた。今回の秘密裏の搬入強行も、この米軍基地が、住民の安心・安全とは程遠いものであることをあらためて明らかにした。

私たちは京丹後市、京都府に、いつ搬入されるのか住民に明らかにするよう求めてきた。また、住民の安心・安全にかかわって、約束事が守られていないことなどから、米軍基地受け入れの撤回をするよう求めてきた。しかし、行政はいつ搬入されるのか明らかにできないとの態度をとり、京丹後市長にいたっては、「レーダーがいつ搬入されるのかは、安全のために言わない」と、住民の不安と不信感を一層強める発言をした。今回の秘密裏の搬入は、行政が責任をもつべき、住民への情報の公開と住民の安心・安全をふみにじる最たるものである。行政も一体となって X バンドレーダー搬入に協力したことに強く抗議する。

私たちは、自治体が住民の立場にあらためて立ち、この米軍基地建設の撤回を求めることを強く要求する。

私たちは、引き続き、この米軍基地の危険性を訴え、米軍基地の撤去を求めて、広く全国、府民へ訴え続けていく。

以上